



瓊浦高等学校
学校通信
第19号

平成26年3月20日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦の窓

習慣は第二の天性

教頭 中上 敢

先日、ソチで行われたオリンピックでは、二十歳未満の若い選手が活躍しました。特に、フィギュアスケートでは、19歳の羽生結弦選手が見事優勝し金メダルを手に入れました。しかし、羽生選手が3回転ジャンプを跳んだのは同世代の選手より遅かったそうです。その遅れを取り戻すために、彼が考えたのが「発明ノート」でした。「発明ノート」とは、毎日の練習で気になったことや思いついたことを書きとめておくノートのことです。例えば練習時のスピードやタイミング、そして、その感覚、さらに、自分が試してみて良かったことや悪かったこと、疑問点などをしっかりと記しておいたのです。羽生選手は、そのノートを使い、新たな目標を定め、それに向かって努力を続けてオリンピックで金メダルを取るという夢を実現させたのです。

論語という書物に「性(せい)、相(あい)に近し。習えば、相(あい)遠し。」という言葉があります。「人間の天性(能力)というものは、人それぞれそんなに違ったものではない。しかし、その人の習慣によっては、大変違ったものになる。習慣は第二の天性(能力)である。」という意味です。身についた習慣は、生まれつきの性質に劣らないほどその人の人生に影響を与えます。すなわち、毎日少しずつ行う習慣が、物事を成し遂げるための「大きな力」になるのです。そのためには、「目的意識を持つこと」、そしてそれを「続けること」など、心(意志)を強くしっかりと持つことが大切です。羽生選手は、正にこのことを実践したのです。

生徒諸君には、自らの高校生活をしっかりとチェックして見直し、新たな習慣づくりにチャレンジして欲しいと思います。そして、それらをしっかりと身に付け、これからの高校生活の中で生かすことで、自身の成長を図るとともに、夢の実現に向かって大きく前進することを期待しています。

そのような意味で春休みは大切な期間です。ご家庭でもお子様と話す機会を多く持ってください、後押しをしていただければと思います。

1学年主任より

寒風吹きすさぶ冬も終わりを告げ、庭の木々も新芽の準備をしています。早いもので入学してから1年が過ぎようとしています。同時に「瓊浦Family」として、私たちも生徒たちと共に学ぶことができましたことを喜ばしく思っています。

この1年、学年では“共創”という理念のもと、「Big Challenge」という目標を学年の目標として掲げてきました。個別に見れば劇的に生活を変えた生徒もいますが、全体的にはまだまだのようです。

次年度でも、今年度の反省を活かしながら学年団も再度“Big Challenge”を継続していきますので、引き続きご理解ご協力をお願いします。

2学年主任より

『輪』から『大輪へ』

平成25年の漢字は『輪』でした。最大の話は東京オリンピックの招致成功であったと思いますが、学校生活においても『輪』を感じるエピソードがいくつも見られました。2学年終えて感じる事は、生徒の皆さんの前向きに変わっていく姿勢です。迷いや不安、誘惑などで方向が定まらなかった生徒の皆さんの様子が、担任の先生方のご指導と多くの学校行事によってクラスの『輪』(協調性)が見られるようになりました。生徒間での進路に対する意識も高まっています。

平成26年度はクラス単位から学年全体に広がり、皆で手を繋ぎあい、『大輪』を咲かせたいと思います。

平成26年度に向けて

いよいよ4月8日から、平成26年度のスタートとなります。同日午後には入学式が行われ、瓊浦高校に新たな仲間たちが加わることとなります。現在の2年生は最上級生として学校を引っ張っていく立場、そして進路選択の大事な1年を迎えます。現在の1年生は、高校生として初めて先輩になります。中堅学年として、後輩たちに恥ずかしくないような振る舞いが必要になります。

この春休み期間中に、今年度の反省をしっかりと行い、次年度の目標をしっかりと定め、始業式に新たな気持ちで臨んでもらいたいと思います。

また、10日には実力考査が行われます。しっかりと準備し、新たな年度のスタートを良いものにしてもらいたいものです。

《主な行事》
4月

8日(火)	始業式・新任式 入学式・対面式 PTA入会式
10日(木)	第1回実力考査
11日(金)	身体測定 避難訓練 内科検診(午後)
14日(月)	三者面談(～18日)
15日(火)	大学体験授業② 心理テスト
16日(水)	内科検診
17日(木)	心電図検査 X線検査
21日(月)	胸部X線検査 勤労体験学習②
22日(火)	心電図検査(午前) 内科検診
23日(水)	宿泊研修①(～25日)
28日(月)	歓迎遠足

【卒業式】

3月1日、第65回卒業証書授与式が行われ、241名の卒業生が瓊浦高校から巣立っていきました。式典は厳粛な雰囲気の中で行われ、校歌斉唱の時には、卒業生、在校生ともに大きな声を体育館中に響き渡らせました。式中には、仲間との別れに涙する生徒も多く、野口くん(普3A)は、自身の高校生活を振り返る感動の答辞を読んでもくれました。

卒業式の後に行われた各クラス最後のHRでは、各クラス担任の先生方からのメッセージが伝えられ、祝福ムード一杯の卒業式となりました。卒業式していく生徒たちの今後の活躍を大いに期待しています。

また、大勢の保護者の皆様のご参加、本当にありがとうございました。これからも瓊浦高校へのご支援をよろしく願います。



【強歩大会】

3月7日に行われた強歩大会では、男子が30キロ、女子が20キロの道のりを歩きました。元気よく走っていく生徒、苦しそうに一步ずつ足を進める生徒とそれぞれでしたが、生徒たちは皆、力を振り絞って長い道のりを進んでいきました。

仲間たちと励ましあいながら歩く中で、精神的に大きく成長できたのではないかと思います。ゴールした後、うどんを食べている生徒たちの表情には、達成感が満ち溢れていました。

また、うどんの炊き出しに参加していただいたPTAの皆様におかれましては、お忙しい中学校行事にご協力いただき、本当に有難うございました。

男子の部
優勝 機1C
女子の部
優勝 情2A
最速賞
機2C 2班



【凧あげ大会】

3月18日、凧あげ大会が行われる予定でしたが、あいにくの雨のため、体育館にて制作した凧の発表会となりました。

各クラス僅かな制作時間で、工夫を凝らした凧を制作しており、そのクオリティーは非常に高いものばかりでした。

今回は残念ながら実際に飛ばすことが出来ませんでしたが、4月に行われる歓迎遠足で、大空にはためく姿を楽しみにしています。



【陶芸見学会】

3月5日、機械科の2年生は来年度の課題研究授業のための事前学習として、三河内焼と有田焼の見学に行きました。それぞれの焼物の特徴を学ぶことによって、来年度深く関わっていく「亀山焼」についても詳しい説明をしていただきました。

生徒たちが特に興味を持っていたのが、やはり作る行程でした。粘土が美しい形の器へと変化し、その器に絵付けをしていくその緻密な作業には、日本人の職人としてのこだわりを感じることができました。生徒たちにとって、来年につながる良い経験になったようです。



【大学見学会】

3月26日、1、2年生の進学クラスを対象にした大学見学会が行われました。福岡にある福岡工業大学、久留米大学の2校を見学し、大学の雰囲気を感じました。

高校とはまるで異なる設備、環境を目にすることで、生徒たちにとって大きな刺激となったようでした。これを契機として、勉学にも更に意欲的に取り組むことを期待しています。



【美術鑑賞】

「幸福とは心の状態を言う」

幸福とは満足することや、金持ちであることを意味していない。

ウォルト・ディズニー氏の印象的な言葉です。3月12日に1、2年生の美術選択クラスの生徒たちは、県美術館で開催されているディズニー氏の展覧会に見学に行きました。特に2年生は修学旅行でディズニーランドに行ってから間もないこともあって、興味深く鑑賞していました。生徒たちにとって、自ら美術館に行く機会というものはありません。本物の作品を目にするという機会はとても重要な体験であったと思われます。

